

サイト ライセンス 管理者ガイド

次の説明は、IBM® SPSS® Amos™ 19 にサイト ライセンスを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、購入したライセンスの数を上限とする複数のコンピュータに IBM SPSS Amos をインストールできます。

始める前に

同梱されている（別紙に記載されている）認証コードが必要です。この認証コードを使用して、IBM® SPSS® Amos™ のライセンスを取得できます。認証コードが見つからない場合は、営業担当者に連絡してください。

ゴースト化

ソフトウェアのゴースト化（イメージの複製）を行う場合は、ライセンスとの適合を容易にするために次の方法をお勧めします。

- ネットワーク ライセンスに移行する。

または

- サイト ライセンスを使用するが、ゴースト化（複製）イメージのソフトウェアにはライセンスを許可しない。エンドユーザーの各コンピュータ上でソフトウェアにライセンスを許可します。

ソフトウェアのゴースト化を選択した場合、上記 2 つの推奨方法のいずれかを使用しないときは、ライセンスとの適合を維持していくことが非常に難しくなります。ご質問がある場合は、ライセンスとの適合を維持する方法について SPSS Inc. にご相談ください。

Citrix とターミナル サービス

Citrix とターミナル サービスで IBM® SPSS® Amos™ を使用するにはネットワーク ライセンスが必要です。ライセンスの移行方法については SPSS Inc. までお問い合わせください。

ローカル デスクトップ コンピュータへの製品のインストール

エンドユーザーのコンピュータ（ローカル）に製品を完全にインストールするには、2 つの方法があります。各コンピュータに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼働しているコンピュータにインストールをプッシュできます。

ローカルのデスクトップに手動でインストールするには

- ▶ **インストールメディアを利用可能にする。**DVDのコピーを必要な部数作成するか、共有ネットワークドライブに置きます。
- ▶ **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備する。**製品のインストール手順書のコピーを必要な部数作成します。インストール手順書は、DVDの /Documentation/<language>/InstallationDocuments ディレクトリにある次のファイルです。です。Site License Installation Instructions.pdf。簡易版のインストール手順書を配布することもできます。これらは、Site License Installation Instructions (Abbreviated).pdf にあります。ソフトウェアをダウンロードしている場合、すべての手順書をアセット マネジメント ポータルまたは <http://www.ibm.com/software/getspss> で入手することもできます。インストール終了後、エンドユーザーはサイトの認証コードを入力する必要があります。指示書をコピーする前に、指示書の初めにある空欄にこの情報を記入しておきます。

注：プロキシサーバーによって認証が拒否される場合は、licenseactivator を使用してください。このコマンドを使用すると、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳細は、[p. 6 licenseactivator の使用](#) を参照してください。

- ▶ **インストールに必要なものをエンドユーザーに配布する。**インストール DVD（またはダウンロード済みファイルまたはネットワーク上での CD-ROM の場所）、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピュータに手動でインストールできるエンドユーザーに必要なに応じて配布します。

Windows が稼働しているローカルのデスクトップにプッシュするには

IBM® SPSS® Amos™ のインストールは Microsoft Windows インストーラ (MSI) と互換性があるため、エンドユーザーのコンピュータにインストールをプッシュできます。

Windows が稼働しているコンピュータへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュは、ユーザーの介入なしにソフトウェアをあらゆる人数のエンドユーザーに配布する手法です。IBM® SPSS® Amos™ の完全インストールをエンドユーザーの Windows が稼働するデスクトップ コンピュータにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM® SPSS® Amos™ のインストール先と同じディレクトリにプッシュする場合は、古いバージョンをアンインストールする必要があります。インストールをプッシュすると同様にアンインストールをプッシュできます。詳細は、[p. 6 アンインストールのプッシュ](#) を参照してください。

プッシュ インストールのプロパティ

プッシュ インストールに使用できるプロパティには、次のようなものがあります。すべてのプロパティは大文字小文字を区別します。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

テーブル 1-1
プッシュ インストールのプロパティ

プロパティ	説明	有効値
INSTALLDIR	IBM® SPSS® Amos™ のインストール先となるエンドユーザーのデスクトップ コンピュータ上のディレクトリ。このプロパティは省略可能です。指定がない場合、デフォルト値はC:\Program Files\IBM\SPSS\AMOS\19 になります。	C:\Amos などの有効なパス。
AUTHCODE	認証コードを入力します。このプロパティが指定された場合、製品は認証コードを使用して自動的に認証されます。このプロパティが指定されない場合、それぞれのエンドユーザーは手動で認証を行うためにライセンス認証ウィザードを実行する必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードは、コロンで区切ります (例: authcode1:authcode2)。
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。 AUTHCODE パラメータを指定し、かつインターネットに接続するためにユーザー ID とパスワードを要求するプロキシをサイトで使用している場合は、このパラメータが必要です。このパラメータが機能するのは、コントロールパネルの [インターネット オプション] の [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定のプロキシサーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。	有効なプロキシユーザー ID。
PROXY_PASSWORD	プロキシユーザーのパスワード。詳細は、 PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシユーザー ID に関連付けられたパスワード。
COMPANYNAME	会社の名前。	任意の文字列。

MSI ファイル

Amos 19.0.msi ファイルは Windows\Amos ディレクトリにあります (DVD)。ソフトウェアをダウンロードした場合、MSI ファイルを使用するには、インストーラ ファイルのコンテンツを抽出する必要があります。詳細は、[p. 4 ダウンロードしたインストーラ ファイルのコンテンツの抽出](#) を参照してください。

ダウンロードしたインストーラ ファイルのコンテンツの抽出

インストール DVD を受け取っておらず、IBM® SPSS® Amos™ をダウンロードする場合、単一のインストーラ ファイルをダウンロードします。このファイルを直接プッシュできません。まず、ファイルのコンテンツを抽出し、プッシュ インストールにこれらのコンテンツを使用する必要があります。

- ▶ コマンド プロンプトを開きます。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動します。
- ▶ /b スイッチでダウンロード ファイルを実行します。スイッチの後、ファイルのコンテンツを抽出するディレクトリを指定します。スイッチおよびディレクトリ名の間にはスペースはありません。ディレクトリ名にスペースが含まれている場合、引用符で囲む必要があります。次に例を示します (実際の実行名は例とは異なります)。

```
ProductInstaller.exe /b"C:\temp\extracted files\IBM SPSS Amos"
```

- ▶ インストールの最初のパネルが表示された場合、インストールをキャンセルします。

インストールのプッシュに必要なファイルは、/b スイッチで指定したディレクトリにあります。

コマンド ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド ラインの例を次に示します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "Amos 19.0.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:\Amos" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM® SPSS® Amos™ をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD の Windows¥Amos ディレクトリの該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合、SMS でプッシュできません。他のオプションを試してください。 [詳細は、p. 5 グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用したインストールのプッシュを参照してください。](#)
- ▶ コピー先のディレクトリにある Amos 19.0.sms ファイルを編集します。テキスト エディタを使用して、CommandLine の値を適切なプロパティを追加することで編集します。利用可能なプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」(p. 3) を参照してください。コマンドラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
- ▶ Amos 19.0.sms ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用したインストールのプッシュ

グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用して IBM® SPSS® Amos™ をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD の Windows¥Amos ディレクトリの該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合、インストーラ ファイルのコンテンツを抽出する必要があります。詳細は、[p. 4 ダウンロードしたインストーラ ファイルのコンテンツの抽出](#) を参照してください。
- ▶ ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーされたフォルダの下の適切な Amos 19.0.msi ファイルのプロパティ テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に含まれています (<http://www.microsoft.com/downloads> へ移動し、「SDK」で検索してください)。プロパティ テーブルに追加できるプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」 (p. 3) を参照してください。適切な MSI ファイルを使用してください。
- ▶ 編集した Amos 19.0.msi ファイルを使用してパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

英語以外のシステムにインストールをプッシュする

追加の指定をせずに英語以外のシステムにプッシュできます。ただし、インストーラの言語 (インタラクティブ インストールをプッシュする場合) が英語で表示される場合、インターフェイスは英語で表示され、またヘルプも英語で表示されます。ユーザーはインストール後にユーザー インターフェイスの言語を変更できますが、ローカライズされたヘルプは使用できません。

DVD からプッシュしている場合、TRANSFORMS プロパティを使用して、DVD で使用できる MST ファイルのいずれかを指定できます。MST ファイルを使用して、インストーラ、ユーザー インターフェイス、およびヘルプを指定の言語で表示できます。IBM® SPSS® Amos™ をダウンロードした場合、MST ファイルを使用できません。ユーザーは、ローカライズされたヘルプの言語パックを手動でインストールし、製品のユーザー インターフェイス言語を手動で変更する必要があります。

TRANSFORMS プロパティは、MsiExec.exe のパラメータです。次の例では、TRANSFORMS プロパティを使用して、フランス語のインストールをプッシュします。インストーラがフランス語で、またユーザー インターフェイスもフランス語で表示され、フランス語のヘルプがインストールされます。(ヘルプ言語を HELPCHOICE プロパティで上書きすることもできます。詳細は、[p. 3 プッシュ インストールのプロパティ](#) を参照してください。) すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "Amos 19.0.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:\Amos" LICENSETYPE="Network" LSHOST="mylicserver" TRANSFORMS=1036.mst
```

次の言語の MST は DVD の Windows¥Amos ディレクトリにあります。

テーブル 1-2
言語の MST ファイル

言語	MST ファイル
英語	1033.mst
日本語	1041.mst

アンインストールのプッシュ

注：アンインストール コマンドをプッシュすると、エンドユーザーがカスタマイズした設定は失われます。特定のユーザーがカスタマイズした設定を必要とする場合は、それらのユーザーを配布から除外して、製品を手動でインストールするよう指示できます。

新しいバージョンの IBM® SPSS® Amos™ のインストールをプッシュする場合、アンインストールを行う必要がある場合があります。このアンインストールは、次のコマンドをプッシュすることで自動的に行えます。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /X{B132EFD2-BF03-48AA-8EC8-404E4C5199C5} /qn /L*v logfile.txt
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

このコマンドは、IBM SPSS Amos 19 をアンインストールします。次の表には、本リリースおよび以前のリリースのアンインストール ID を示します。

テーブル 1-3
IBM SPSS Amos のアンインストール ID

バージョン	アンインストール ID
19.*	{B132EFD2-BF03-48AA-8EC8-404E4C5199C5}
18.*	{65D9DA69-4C22-46CA-B762-A338CAC94599}
17.*	{9DB2E18E-2A1F-4D65-A258-9CB446903C3E}
16.*	{4DA782CB-C9A0-462F-9D18-17D301BC507C}

licenseactivator の使用

licenseactivator を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使わなくても、エンドユーザーのコンピュータを認証することができます。このコマンドライン ツールは、IBM® SPSS® Amos™ をインストールしたディレクトリにあります。

licenseactivator を使用すると、製品ライセンスが有効になり、ディレクトリにログ ファイルが書き込まれます。ログ ファイル名は、licenseactivator_<month>_<day>_<year>.log です。エラーが発生した場合は、ログ ファイルで詳細を確認できます。この情報は、SPSS Inc. に問い合わせをする際にも役立ちます。

認証コードを使った licenseactivator の使用方法。

licenseactivator は、通常、購入した製品に付属している 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname]
```

```
[PROXYPORT=proxy-port-number] [PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 認証コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、コンピュータがプロキシを設定している場合は設定が必要な場合があります。OS によって、必要なプロキシ設定が異なります。

Windows: プロキシ設定が機能するのは、コントロール パネルの [インターネット オプション] にある [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定のプロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。コマンドラインにプロキシ ホストおよびポートを入力しないでください。ただし、PROXYUSER および PROXYPASS に値を入力する必要があります。

その他のオペレーティング システム: その他のオペレーティング システムの場合、特定のプロキシ設定に応じて、コマンドラインのすべてのプロキシ設定の入力が必要な場合があります。

ライセンス コードを使った licenseactivator の使用方法。

あまり一般的ではありませんが、SPSS Inc. からすでに「ライセンス」を受けている場合もあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- ライセンス コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- ライセンス コードを使用する場合、licenseactivator はインターネットに接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

ライセンス ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール ディレクトリに lservrc という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンドユーザーの各コンピュータに対して保持しておくことができます。ライセンス ファイルは、それを作成したコンピュータ上でのみ機能しますが、そのコピーがあると製品のアンインストールまたは再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストールの後で、lservrc ファイルを製品のインストール ディレクトリにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、お客さまのサイトで、サイト ライセンス バージョンの製品ごとに連絡先となる技術担当者を指定します。技術担当者は、組織のユーザーに製品およびオプションについて支援することが期待されます。SPSS Inc. は、技術担当者の名前を記録し、SPSS Inc. テクニカル サポートを介して技術的な支援を提供します。エンドユーザーには、ソフトウェアに関する質問は指定した技術担当者に直接問い合わせるように通知してください。

SPSS Inc. テクニカル サポートに連絡するには、<http://support.spss.com> にアクセスしてケースを送信してください。SPSS Inc. テクニカル サポートに登録していない場合は、登録が必要です。

SPSS Inc. では、SPSS Inc. 製品のトレーニング セミナーを定期的に行っています。オンサイトでのトレーニング受講も可能です。トレーニング セミナー、ソフトウェア、出版物の詳細は、(03) 5466-5513 にお問い合わせいただくか、Web サイト (<http://www.spss.com><http://www.spss.co.jp/training/training.html>) を参照してください。

障害のあるメディアの交換は、電子メール (spsscscs@us.ibm.com) または電話 (03-5466-5620) で 9:00 から 17:00 の間に連絡してください。